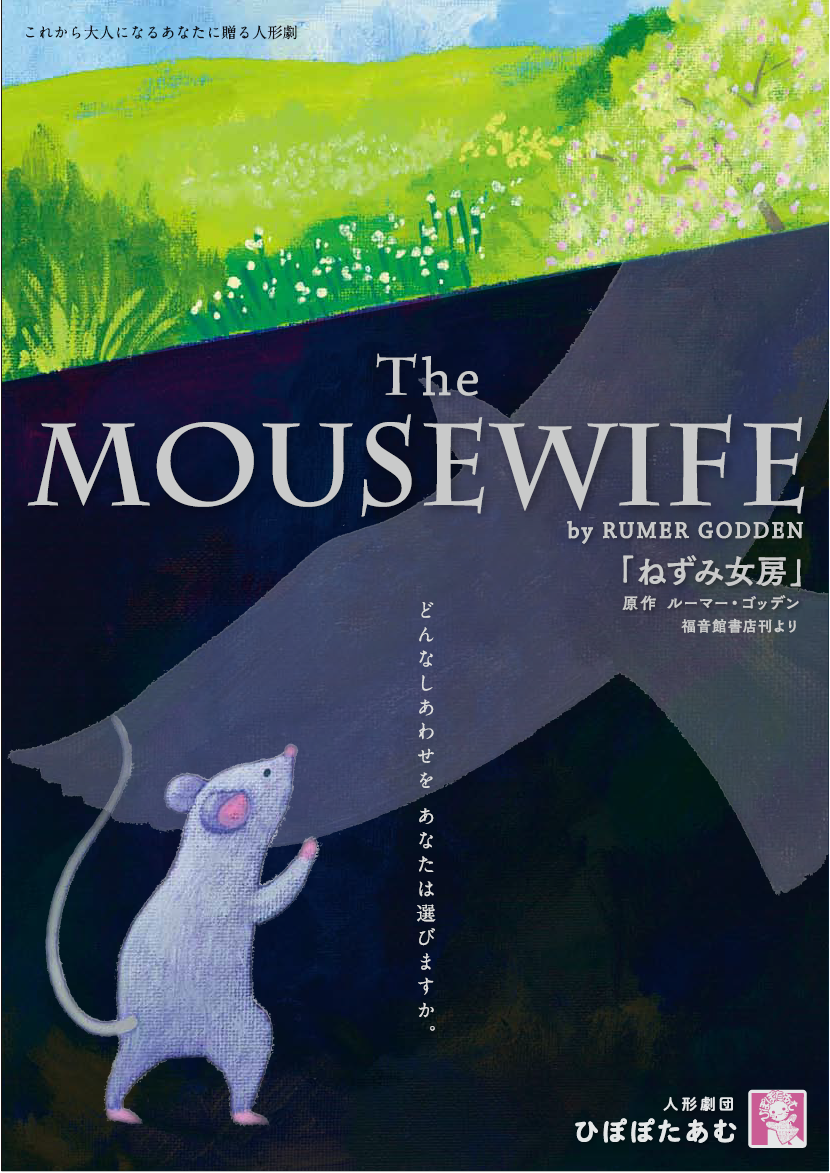
** 2021.12.11(土)3時～・　6時～**

**チケット　2000円　小学4年以上**

**あざれあ　大会議室**（定員７０名）

**主催　静岡県子ども劇場おやこ劇場連絡会**

**チケット申込先　お近くの子ども劇場おやこ劇場事務局　または　lurie\_oka@yahoo.co.jp**

 **文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業**

**「ねずみ女房」あらすじ**

**あるところに、家族のために毎日毎日食べ物を探して、掃除して、走り**

**回る小さなめすねずみがいました。働くことは苦にはなりませんでした**

**が、「何か足りないもの」があるような気がしていました。ある日、彼**

**女は鳥かごに入れられたはとと出逢います。ねずみは、はとが語る窓の**

**外の話に心を躍らせますが、はとは､また空を飛びたいと思うのでした。**

**ある晩、ねずみはこどもを寝かしつけると、かごのなかの飛べないはと**

**のことを思いました。そして‥‥。**

**これから大人になるあなたに贈る人形劇　　演出　三由寛子**

**●他人の痛みや苦しみを自分のことのように感じる力…「共感力」「想像**

**力」はどこからやってくるのだろうか？　●窓辺でふと誰かの苦しみに**

**気づく…記録にも記憶にも残らないようなそんな出来事…ちっぽけな人**

**間の、小さな願いや行動の積み重ねが、もしかしたら、よりよい世界…**

**「人間らしい世界」を目指し築いてきたのかもしれない。　●宇宙から**

**見ればチリよりも軽くはかない人間の生命ひとつひとつの中に、宇宙の**

**ように深遠な「思い」や「願い」が渦巻いている。時の彼方に忘れ流れ**

**ゆくそれらのひとつでもすくい上げ、思いをはせることが出来たら…**

**演劇は面白いかもしれない。**

**人形劇団ひぽぽたあむ**

**ひぽぽたあむの人形劇は、おもに片手使いの人形で演じられます。俳優は**

**衝立の後ろに隠れていて､観客のみなさんには人形しか見えません。**

**人形は、演技者の技と観る人の想像によって生き生きと動き出します。**

**生の人間ではない「人形」だからこそかえって人間の世界を深く描き出す**

**ことが可能になります。私たちはそこに人形劇ならではの世界があると**

**信じています。**

|  |
| --- |
| **脚色　　　いずみ凛**  **演出　　　三由寛子（東京演劇アンサンブル）**  **音楽　　　足立裕子**  **舞台美術　三木元太**  **人形美術　大澤　直**  **照明　　　真壁知恵子**  **出演者　　永野むつみ　大澤　直**  **客演　中村孝夫（人形劇団ひとみ座）　戸前優子（フリー）** |

**チケットの申し込みは　お近くの子ども劇場　おやこ劇場事務局へ**

**伊東おやこ劇場　　　富士子ども劇場　　　　清水おやこ劇場　　　静岡おやこ劇場**

**080-3632-8430**　　　 　 **[fujikogeki44@gmail.com](mailto:fujikogeki44@gmail.com)**  **[shimizuoyako@rx.tnc.ne.jp](mailto:shimizuoyako@rx.tnc.ne.jp)**  **info@shizuokaoyako.org**

**焼津おやこ劇場　　 　藤枝おやこ劇場　　　榛南おやこ劇場**

**054-623-7578 　　　　 　 　054-643-7779　　　[chadonya-shogo@deluxe.ocn.ne.jp](mailto:chadonya-shogo@deluxe.ocn.ne.jp)**